

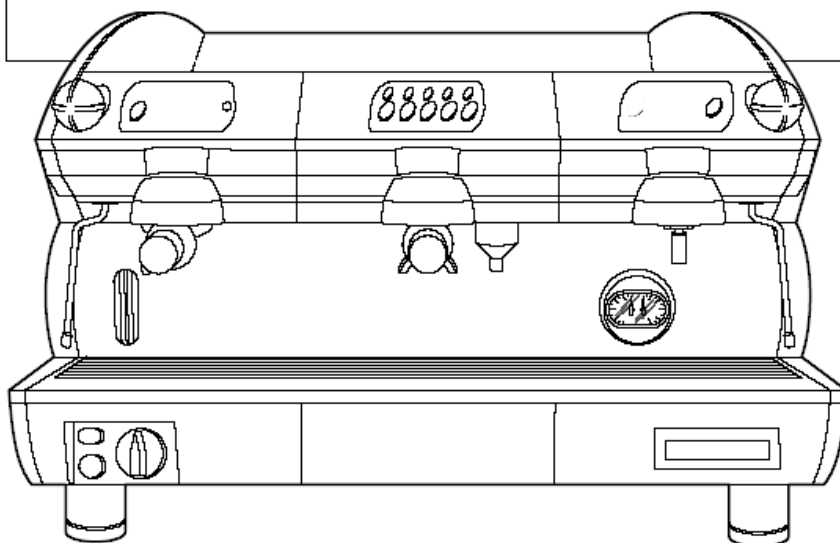


Professional espresso coffee machine

アロマ SE シリーズ 取扱説明書

Models:

AROMA SM / SE



INSTRUCTION AND MAINTENANCE MANUAL

目次

1. マニュアルの説明	3
1-1 はじめに	3
2. マシンの概要	4
2-1 はじめに	4
2-2 仕様	4
2-3 各部の名称	5
2-4 自動販売システム	6
2-5 コントロール・ボタン	6
3. 設置	7
3-1 設置環境	7
4. 安全のために	7
4-1 お願	7
5. 機能、使用方法、プログラミング	8
5-1 コーヒー抽出量のプログラミング	9
5-2 給湯量のプログラミング	10
5-3 コーヒーの抽出	11
5-4 特殊機能	11
5-5 給湯	12
5-6 カプチーノとミルクの機能	13
5-7 カプチーノ抽出のプログラミング	13
5-8 ミルク抽出のプログラミング	14
5-9 その他の機能	14
5-10 アラーム	16
6. メンテナンス	17
7. メンテナンス	19
8. マシンの廃棄	19

1. マニュアルの説明

この度はサエコ「アロマ SE シリーズ」をお買上いただき、誠にありがとうございます。
本製品(以下「マシン」と呼びます)をご使用の時には、必ずこのマニュアルをよくお読みください。

1-1 はじめに

マシン使用期間中は、このマニュアルをいつでもご覧になれるよう大切に保管しておいてください。万が一マニュアルを紛失もしくは破損した場合には、速やかにサービスセンター(巻末に記載)へご連絡ください。
なお、このマニュアルの本文・図などすべての無断転載・複製は禁じられています。

重要: 以下に挙げた行為の結果発生したマシンの不具合や故障に対しては、メーカーは一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- ・ マシン本来の使用目的以外で使用された場合
- ・ マニュアルの記述に反した使用、あるいは誤った方法で使用された場合
- ・ 保護者の同伴を要する方が単独で使用された場合
- ・ マシンの一部や部品、特に安全装置に対して改造等が行なわれた場合
- ・ 屋外で使用された場合

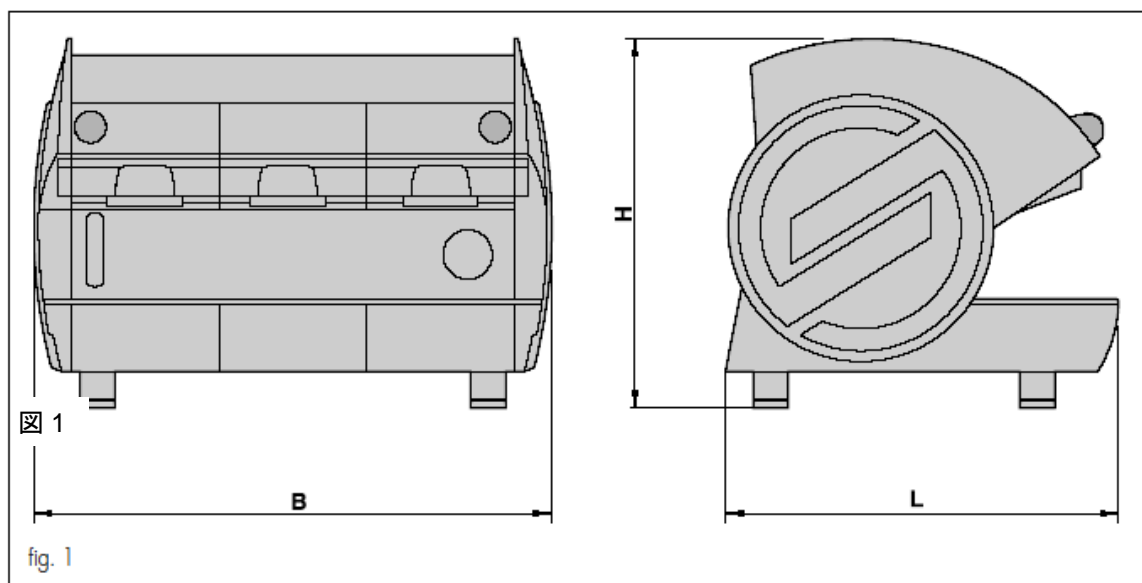
2. マシンの概要

2-1 はじめに

このマシンはコーヒーなどの抽出を目的としたセミオート・コーヒーマシンです。
プログラムによって挽きたてのコーヒーおよび給湯をワンタッチで抽出します。

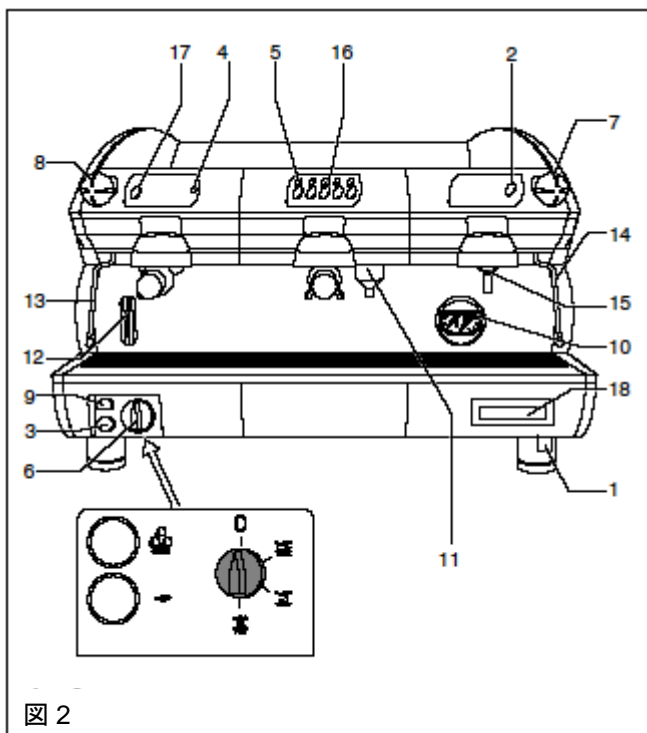
マシンに関するお問い合わせやご意見、あるいは部品やメンテナンスのご依頼などはすべて販売店もしくはサービスセンター(巻末に記載)までご連絡ください。

2-2 仕様



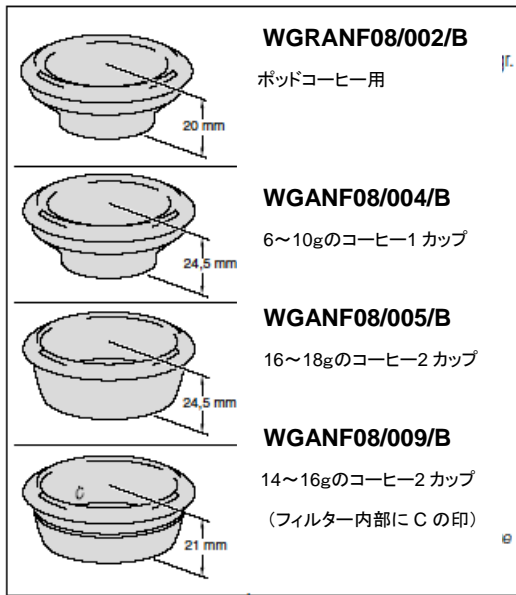
		SE-200	SE-C100
サイズ	幅	760 mm	420 mm
	奥行	540 mm	550 mm
	高さ	530 mm	530 mm
重量		75 kg	37 kg
消費電力		4760 W	3200 W
電源		三相(单相可)	单相可(三相可)
電圧		200 V	200 V
周波数		50 / 60 Hz	50 / 60 Hz
ボイラー容量		13 ℓ	4.9 ℓ

2-3 各部の名称



1	ボイラー給水用タップ
2	給湯ボタン
3	電源モニター
4	抽出ランプ(LED)
5	抽出ボタン
6	メインスイッチ
7	右スチームノブ(コントロールノブ)
8	左スチームノブ(コントロールノブ) (SE-C100 の場合は、給湯ノブ)
9	カップウォーマースイッチ(SE-200)
10	ボイラー／ポンプ圧カゲージ
11	カプチャーメーカー(オプション)
12	ボイラー水位確認窓
13	左スチームワンド (SE-C100 は給湯ノズル)
14	右スチームワンド
15	給湯パイプ(SE-200)
16	ユニット 2 キーボード
17	ユニット 1 キーボード
18	(オプション)抽出量モニターディスプレイ

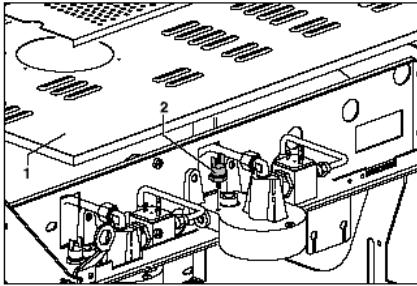
フィルター



左図のとおり、1 杯/2 杯用のフィルターが用意されています。

図 3

● サーマスタット交換(グループヘッドの温度変更が可能です)



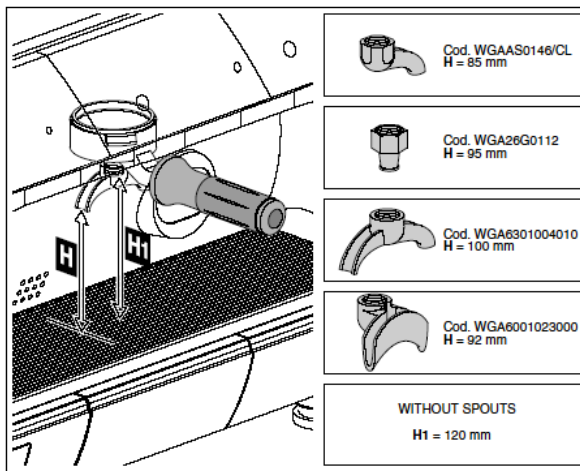
カップヒーティングボウル(1)を取り外します。

例)

サーモスタット(2) (WGANM1561-T103°C)を外し、低温度サーモスタット(WGADM1736-T98°C)に取り換えます。

図 4

● 抽出口



付属品として 4 種類の抽出口があります。抽出口によってトレイ(H)までの間隔が異なります。

図 5

3. 設置

設置に関する以下の作業は、サービスエンジニアに依頼してください。

- ・ 水道管への接続
- ・ 設置台の穴開け作業
- ・ 浄水器の設置
- ・ 排水管の取り付け

3-1 設置環境

マシン設置には、以下のような条件がすべて満たされた場所を選んでください。

- ・ 気温 4～40℃、湿度 90%以下の室内
- ・ 背後の壁から 8cm 以上離して置ける水平な台上
- ・ 電源コードが届く範囲内に定格コンセントがある
- ・ 水や油がかからない場所

重要: 強い磁気をマシンに近づけないでください。電気・電子系統に著しく損害を与える恐れがあります。

4. 安全のために

4-1 お願い

身体及び周辺施設の安全のため、以下のことをお守りください。

- ・ ご使用前に、必ずマニュアルをよくお読みください。
- ・ クリーニングやメンテナンスを行なう時には、必ずメインスイッチを切るか電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・ マシンボディーやパネル類を取り外さないでください。
- ・ 本体や部品を改造しないでください。
- ・ 水やその他のいかなる液体もかけないでください。

5. 機能、使用方法、プログラミング

プログラミング・ソフトで以下の操作を確認することができます。

- 各ユニットの取り扱い
- コーヒーとお湯の同時抽出機能
- カプチーノ/ミルク機能
- コーヒー抽出量点検
- お湯抽出量の定期点検
- 模擬測定プログラミング
- 抽出度合い点検および管理
- アラームによるシステム管理
- 自動タイムアウトおよびその他の機能
- 計算機器へ直列接続
- 16×2LCD ディスプレイ

重要: 最終的な選択モードがディスプレイに表示されます。

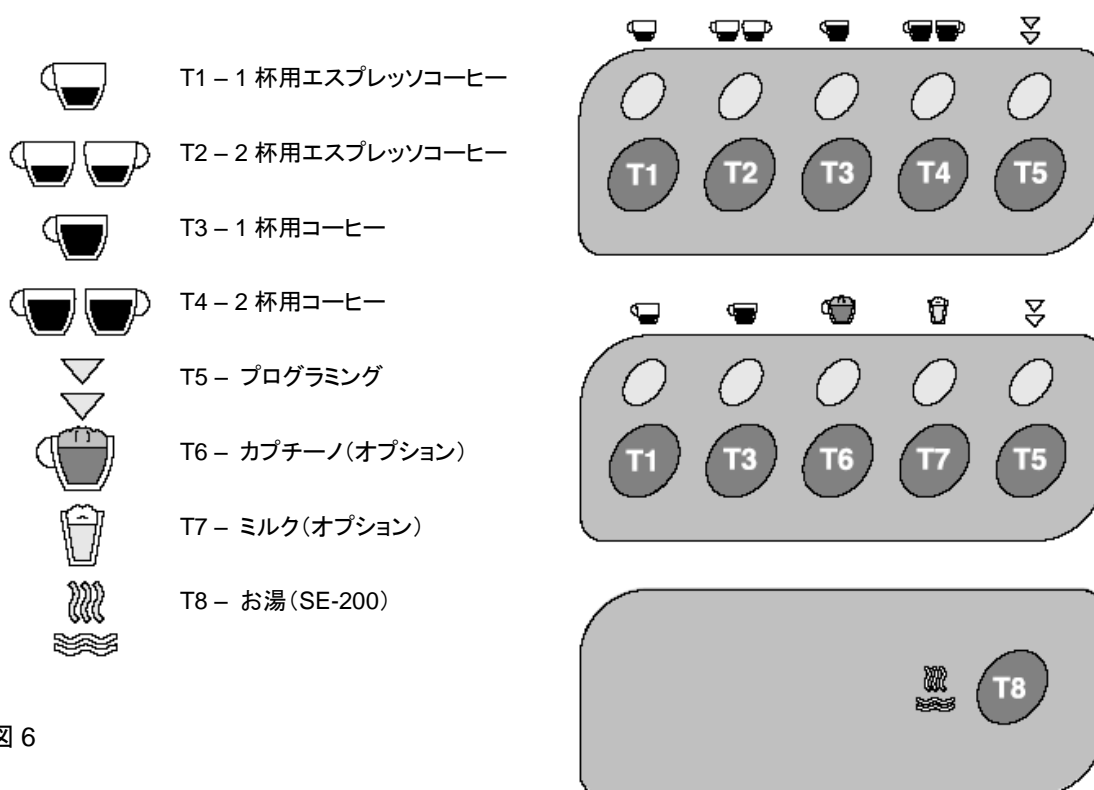


図 6

5-1 コーヒー抽出量のプログラミング (SE-200/SE-C100 共通)

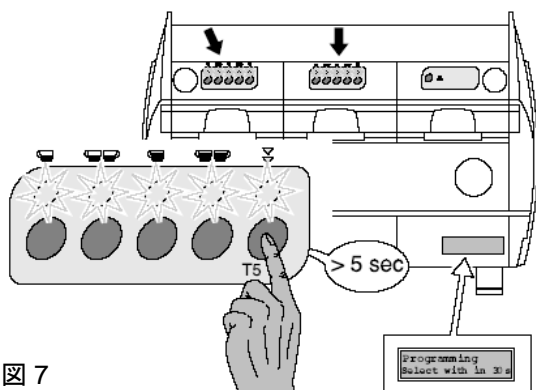


図 7

コーヒー抽出量は以下の手順で調節し記憶させます:

ユニット 1 のキーボード上の T5 を 5 秒以上押し続け、全てのキーボード上のランプが点灯するまで押し続けて下さい。点灯が確認できれば、全てのプログラミングが可能です。

重要: ユニット 1 で設定したデータは自動的に全てのユニットに複製されます。

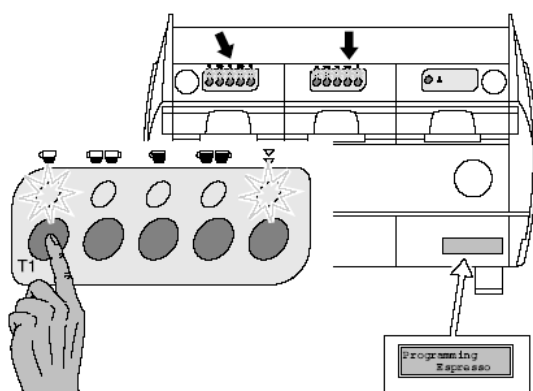


図 8

ユニット 1 のキーボード上のプログラミングするキー (例: T1) は 30 秒以内で押しください (30 秒以上経過するとタイムアウトとなります)。

T5 のランプが点灯した状態で、全てのキーボード上のプログラミングするキーに関連するランプが点灯します。

注意: 30 秒以内にどのキーも押されない場合、プログラミング・モードは自動的に解除されます。

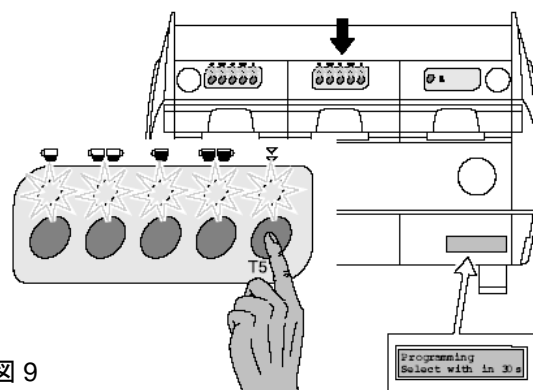


図 9

手順:

T1 を押すとコーヒーの抽出が始まります。T1 を再度押すかあるいはその他のキーを押すと抽出は停止し、そのデータが記憶され、全てのキーの点灯が消えます。

T2~T4 についても、上記と同様の方法でプログラミングしてください。

プログラミングを中止したい場合は、T5 を押しください。

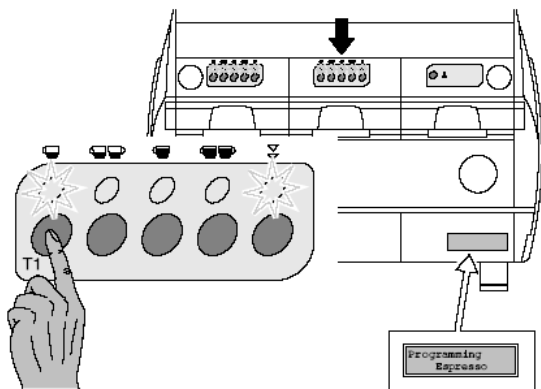


図 10

重要:「蒸らし」機能を作動させる場合 (5-4)を参照して下さい。

注意:プログラミング中は給湯を含め全ての抽出はできません。

他のユニットについても、上記と同様の方法でプログラミングしてください。この場合、実際に機能しているユニットのみ抽出の変更が可能です。

5-2 給湯量のプログラミング (SE-C100 はマニュアル操作になります)

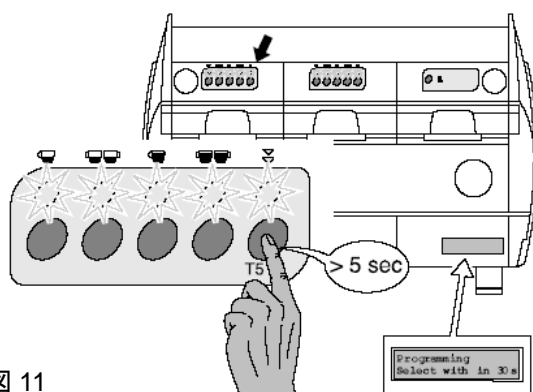


図 11

手順:

給湯量は以下の手順で設定してください:

ユニット1のキーボード上のT5を5秒以上押し続け、全てのキーボード上のランプが点灯するか確認してください。

T8を30秒以内に押ししてください(30秒以上経過するとタイムアウトとなります)。

これで給湯が始まります。

T8を再度押すと抽出は停止し、そのデータが記憶され、全てのキーの点灯が消えます。

プログラミングを中止する場合、直ちにT5を押してください。

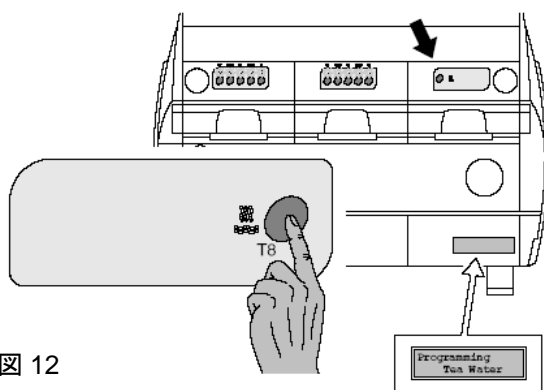


図 12

5-3 コーヒーの抽出

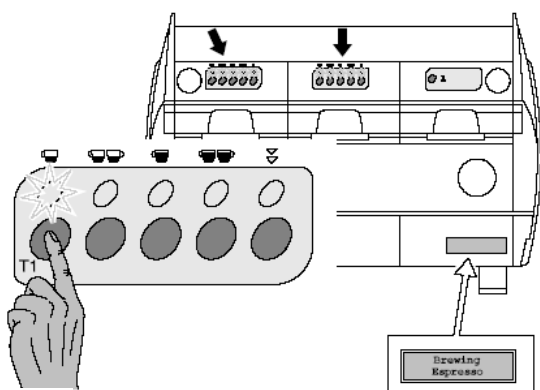


図 13

T1～T4 の抽出したいコーヒーのキーを押すと、プログラミングされた量が抽出されます。選択したキーのランプは、コーヒーの抽出が終わるまで点灯しています。

抽出中に同じキーボード上の他のキーを押すと、抽出は中止されます。

全てのユニットから同時にコーヒーを抽出することも可能です。

5-4 特殊機能(SE-200のみ)

以下の特殊機能を操作することができます。

洗浄アラーム(オプション設定)

カプチーノあるいはミルクを抽出して10分後、「Run Milk Clean」メッセージが表示されT6またはT7のランプが点灯します。これはカプチーノあるいはミルクの抽出準備ができたことを知らせるか、またはミルク抽出部分の洗浄が必要なことを知らせます。

T6あるいはT7を押すとアラーム機能は一時的に停止します。

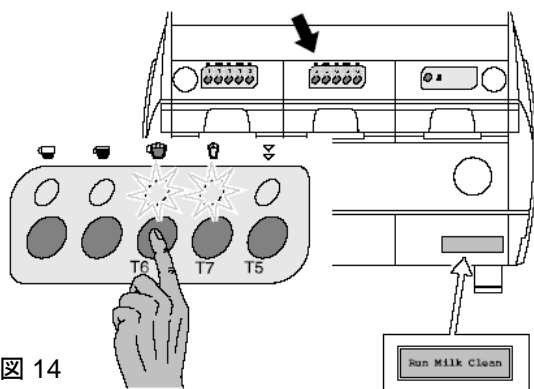


図 14

カプチーノ部分の洗浄(オプション)

洗浄アラームが出た場合、以下の手順で洗浄してください:

コンテナに1リットルの水を入れます。

コンテナからミルク吸引パイプを取り外し、コンテナの中に入れます。

T7とT5を同時に押すと「サービス」機能が作動し、カプチーノ部分を洗浄します。

全ての水が吸い上げられたらT7を押して停止してください。

蒸らし機能

コーヒー抽出の事前に蒸らし機能を利用することができます。

給湯温度切替(SE-200のみ)

この機能を ON にすると、給湯時に約 96℃のお湯が抽出されます。

この機能が OFF の場合、お湯は約 100℃で抽出されます。

開始と停止

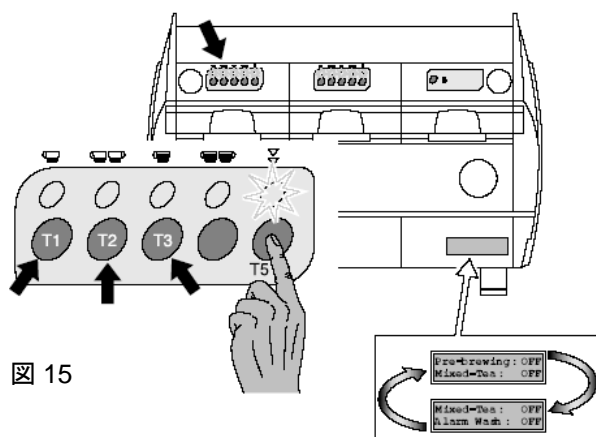


図 15

ユニット1のT5を押しながら、マシンのスイッチを入れ、T5のランプが点滅するまで押し続けます。

T1～T3を押すことにより、事前蒸らし、洗浄アラーム、給湯切替機能を開始したり停止することができます。

T1ランプ点灯: 事前むらし機能開始

T2ランプ点灯: 給湯機能開始

T3ランプ点灯: 洗浄アラーム機能開始

これらの機能を解除するには T5 キーを押してください。

5-5 給湯(SE-200専用機能)

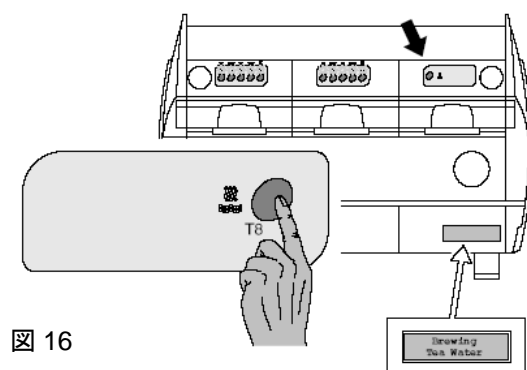


図 16

T8を押すとお湯が抽出されます。

タイマーを設定すると設定時間に至るまでお湯は抽出されません。

お湯とコーヒーを同時に抽出することもできます。

再度 T8 を押すと、設定時間に至る前にお湯を抽出することができます。

5-6 カプチーノとミルクの機能(SE-200 用オプション)

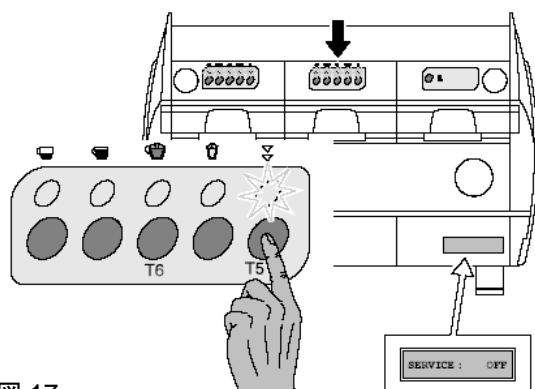


図 17

ユニット 2 の T6 と T7 でカプチーノとミルクの機能を設定することができます。

重要:この機能は、ユニット 2 のキーボード上のみで同時に両方の機能を設定します。

開始と停止

T5 を押すと、「SERVICE OFF」と表示されるまでランプが点灯します。

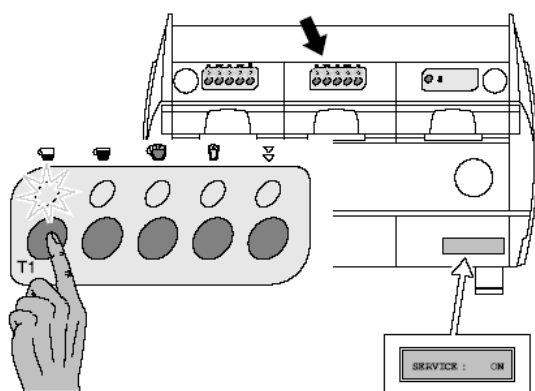


図 18

ユニット 2 の T1 を押すと、カプチーノとミルクの機能が開始します。

T1 ランプ点灯:カプチーノ/ミルク機能開始

他のユニットについても、上記と同様の方法で設定することができます。

5-7 カプチーノ抽出のプログラミング(SE-200 オプション)

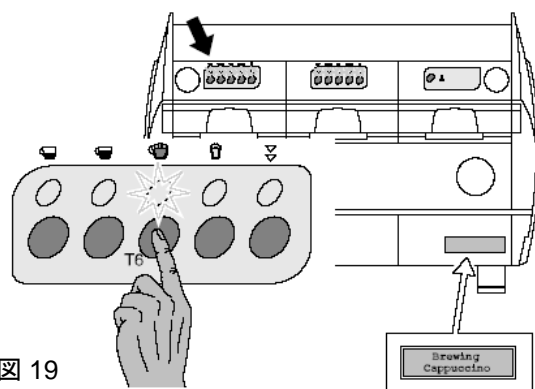


図 19

このプログラミングについては、T6 を押し、「5-1 コーヒー抽出量」と同じ手順で設定することができます。

コーヒー抽出が終わると、間隔をあけて次にミルク抽出が始まります。T7 を押すとミルクの抽出は停止します。

5-8 ミルク抽出のプログラミング (SE200 オプション)

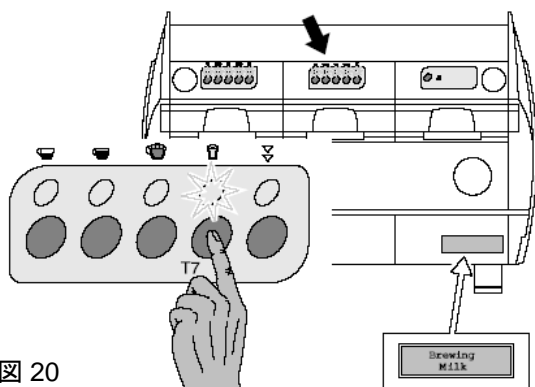


図 20

このプログラミングについては、T7を押し、「5-2 お湯抽出量」と同じ手順で設定することができます。

5-9 その他の機能 (オプション)

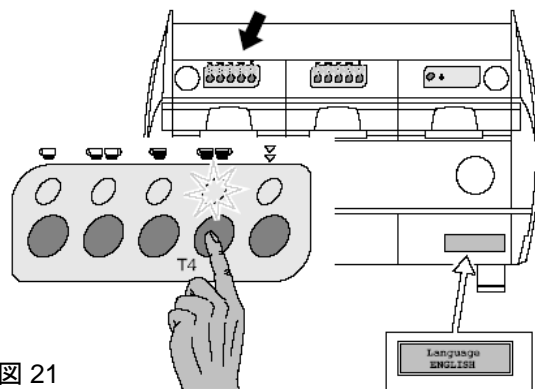


図 21

言語

T4 を押し続けます。

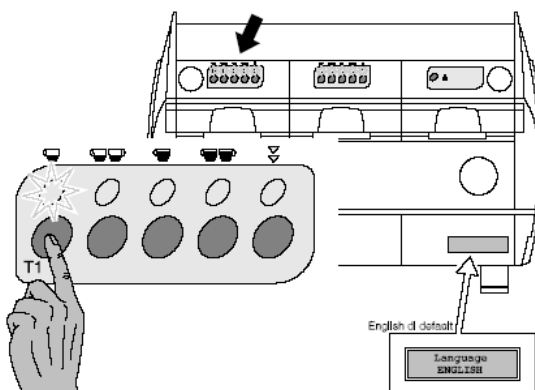


図 22

T1 を何度か押して言語を選択します。

再度 T4 を押すと選択した言語を確認できます。

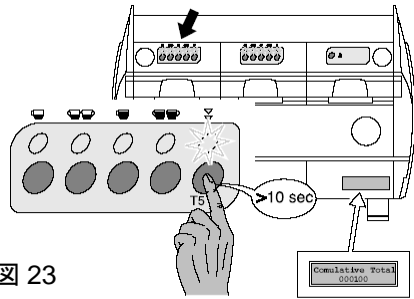


図 23

消費量の読み取り(SE200 オプション)

ユニット 1 の T5 を 10 秒以上押し続けると、抽出機能が作動していることを表示します。再度 T5 を押すと、この機能は停止します。

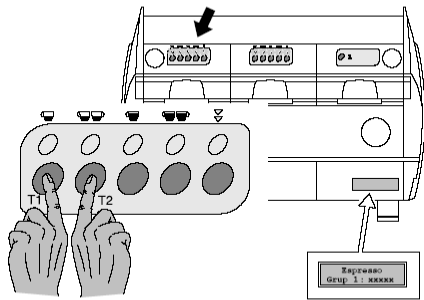


図 24

T1(進む)または T2(戻る)を押すと、記憶させた消費量の値を読み取ることができます。

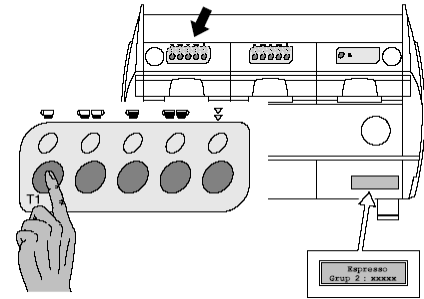


図 25

ユニット 1 の T1 を押すと、ユニット 2 の各キーの消費量の値まで連続で移動します。

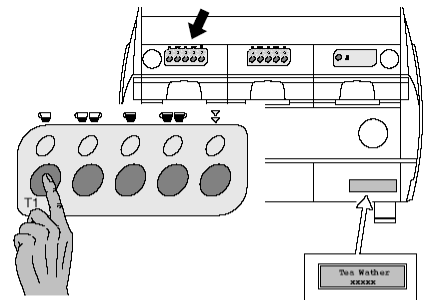


図 26

最後のデータの読み取り後 T1 を押すと、給湯の値の読み取り機能を設定することができます。

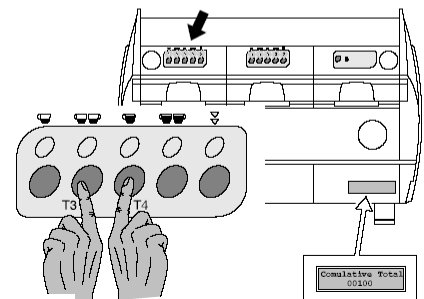


図 27

トータル消費量(トータル累積値ではありません)を削除するには、「CUMULATIVE TOTAL」が表示されている状態で、ユニット 1 の T3 および T4 を 3 秒間押し続けます。

5-10 アラーム

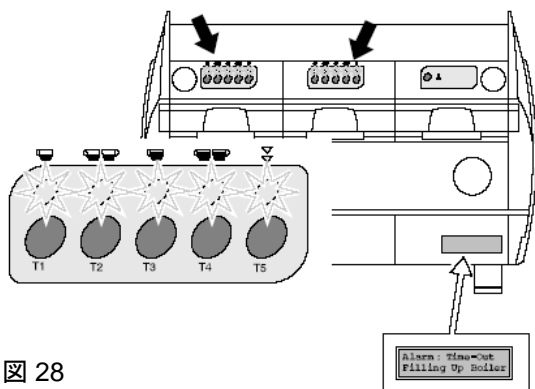


図 28

ボイラーのタイムアウト

このアラームは、水位が低すぎたり探針が取り外されている場合に作動します。

この場合、キーボードのランプが点灯しアラームのメッセージが表示されます。

(メッセージ表示はオプション機能搭載機のみ)

この機能はマシンをOFF にすると自動的に解除され、ON にすると再度作動します。

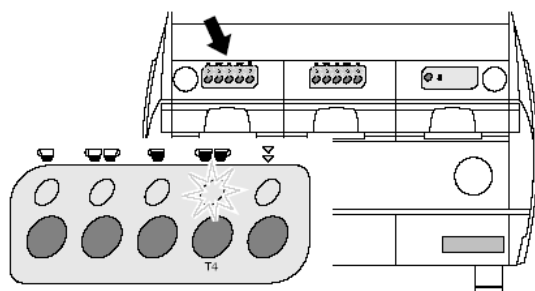


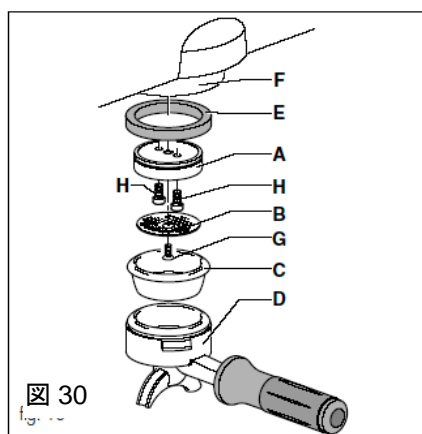
図 29

水量計測機能がインパルスの数値を読み取り検査します。5 秒を超えてインパルスが記録されない場合、それに関するランプが点灯します(図では T4)。インパルスが記録されず 1 秒後、測定は自動的に停止します。

6. メンテナンス

クリーニングを行う際には、メインスイッチをオフにするか、または電源プラグを外し、マシンが冷めるまで待ってから行ってください。

- 取り外すことができない部品やマシン本体は、特に指定がない限り、水やぬるま湯で湿らせたやわらかいスポンジや布を使って、きれいにふき取ってください。
- マシンに直接水をかけないでください。
- クリーニングが可能な部品は全て入手(購入)できますので、分解しないでください。
- 定期的なメンテナンスおよびクリーニングをすることによって、マシンを衛生的に保ち、より長期間本来の性能を発揮させることができます。



A	ホルダーサポート
B	シャワープレート
C	(ポルタ)フィルターバスケット
D	ポルタ(フィルター)ホルダー
E	シール(ガスケット)
F	グループヘッド
G	センタースクリュー
H	アレンスクリュー(六角)

- ・ シャワープレート部(B)を清潔に保つために、マシンを作動させる前に空のバスケットで、数回テストすることをお勧めします。この方法で、(B)とフィルターバスケットとの間にコーヒーカスが溜まりますので、それを取り除いてください。この作業は毎日繰り返し行ってください。
- ・ フィルターバスケットの穴(C)を点検し、カスを取り除いてください。
- ・ フィルターバスケット(C)およびポルタホルダー(D)本体内部をお湯で毎日洗浄されることをおすすめします。また、コーヒーカスの脂汚れを取り除くため、C および D を取り外し、お湯に一晩浸しておくことをおすすめします。
- ・ ポルタホルダーが常に適温の状態であるか確認してください。
- ・ カップウォーマーに布等をかぶせないでください。
- ・ マシン本体をふき取る際に、研磨剤や腐食性の洗剤の使用はおやめください。
 - ・ スチームノズルは異物の付着をさけるため、ご使用後すぐに洗浄することをおやめください。

毎週のクリーニング

ユニットおよび注ぎ口のクリーニング:

マシン本体の抽出口のフィルターにコーヒーマシン用クリーニングタブレット、を入れ、グループヘッドに取り付けてください。ユニットの抽出ボタンを押してください。30 秒後抽出を停止させ、この操作を 3~4 度繰り返してください。次に、通常のフィルターを使ってユニットをすすぎ洗いし、水のみで抽出を数回繰り返してください。

下側カップ・シールの交換

シール(E)はユニット部分(F)とフィルターホルダー(D)の間にコーヒーの抽出もれが見つかった時、あるいはポルタホルダーが閉じている状態で、ユニットの停止位置が大きく外れている時に交換が必要です。

センタースクリュー(G)をゆるめてシャワーフィルター(B)を取り外します。2 個のアレンスクリュー(H)をゆるめてホルダーサポート(A)を取り外します。

マイナスドライバー等を使ってシール(E)を取り外します。シールを取り外したら溝を清掃・洗浄し、元の位置に取り新しいシールを取り付けます。

7. トラブルシューティング

以下の表はマシン稼動中に起こりうる問題／原因／解決法を示しています。

本表に記載のないような状態になったと思われる場合には、必ずそのままの状態、サービスセンター(巻末に記載)までご連絡ください。

問題	原因	解決法
電源が入らない	1. マシンのスイッチが入っていない	1. メインスイッチを ON にする
ボイラーに水が流れない	1. 給水元栓が閉じている 2. ポンプのフィルターが詰まっている	1. 元栓を開く 2. フィルターを交換する
マシンが作動しない	1. 給水元栓が閉じている	1. 元栓を開く
スチームが出ない	1. 噴霧器が詰まっている 2. 電気抵抗セーバーが作動している	1. 噴霧器を洗浄する 2. 電気抵抗を再度差し込む
マシン下から水漏れ	1. 排水トレイが汚れている 2. 排水管が詰まっている、または外れている	1. トレーを洗浄する 2. 排水管を交換する
コーヒーの残りカスが湿っている	1. コーヒーがうまく挽けない 2. ユニットが冷たいままである	1. 挽き具合を調節する 2. マシンが正常温度に達するまで待つ
コーヒー抽出が遅い	1. グライNDERの挽き具合がうまく設定されていない 2. フィルターホルダーが汚れている	1. グライNDERを調節する 2. フィルターを交換し、フィルターホルダーの洗浄回数を増やす
コーヒー抽出が早い	1. グライNDERの挽き具合が早い	1. 挽き具合を調節する

8. マシンの廃棄

このマシンは産業廃棄物になります。

各市区町村の法令、条例に従ってください。

また、廃棄する前に電源コードだけは本体から切り離しておいてください。



サエコサービスセンター

〒665-0823 兵庫県宝塚市安倉南1丁目9-41

TEL.050-5525-7025 / FAX.0797-84-0767